

扶養照会は通知
に基づき対応を



佐々木智子(日本共産党)

生活保護申請時における扶養照会等の運用基準(厚労省通知)に基づき、どのような対応を行っているか。
地域福祉部長 取扱いは今和3年、扶養義務履行が期待できない者としての判断基準が通知されたものです。市は通知発出以前から内容に沿った取扱いを行っていました。
子ども生活部長 現在、調査を実施しており、耳の聞こえについて尋ねています。

受益者負担の適
正化について



白川哲也(選ばれる町田をつくる会)

基本方針改定後の適正化に向けての取組は。
財務部長 毎年、取組の方向性を所管課に示しています。所管課はコスト削減などを検討し、適正化を図っています。
子ども生活部長 収入は基本方針に基づき受益者負担割合のサービスクラス、民間や近隣自治体サービスにおける対価を参考に検討しています。

バス園児置き去
り障がい者



小野りゅうじ(まちだ市民クラブ)

子ども生活部長 ご提案があった内容につきましては、周知方法も含め検討させていただきます。
子ども生活部長 有効な情報を提供するなど、子どもの安全を最優先に適宜必要に応じた対応をしていきます。
地域福祉部長 町田市の条例における民間事業者や市民に対しての合理的配慮の考え方につきましては、今後、条例検討を諮問する障がい者施策推進協議会で検討させていただきます。

少子育化を解消す
る子育て施策を



新井よしな(無所属)

子ども生活部長 具体的な研究をしていますが、先駆的な事例や他市の動向等を見直し、参考にさせていただきます。
子ども生活部長 具体的に立中小学校の給食費を無償化した場合の財政負担額は、学校教育部長 小学生の場合はおおよそ10億7000万円、中学生はおおよそ6億5000万円を見込んでいます。合計で17億2000万円が年間かかることとなります。

所有者不明私道
への対応など



山下つや(公明党)

改正民法を受け、所有者不明私道への対応ガイドラインの改訂が行われたが、市が考える見直しは。
道路部長 私道舗装整備補助事業は、一部の所有者が不明で申請を受けることができなかった案件について、過半数の同意によって補助を受けられるよう見直す予定です。
子ども生活部長 教育センター複合施設への移転を機会に医療的ケア児や肢体不自由児の受入れを強化できるよう、検討を進めています。

生公園へ相談／忠
告



小野寺まなぶ(公明党)

23年4月に発足をする「こども家庭庁」と連携したいじめ相談窓口の展開は。
指導室長 いじめ匿名連絡サイト、スクールサインでは、記述内容を基に相談を受けています。今後、いじめ問題を主体的に考える機会を設定することを目的に、町田中学校生フォーラム「いじめ防止に向けて」を実施予定です。
子ども生活部長 国が今後示す展開方法に対する対応を検討していきます。

認知症施策／公
用車の管理運用



佐藤和彦(まちだ市民クラブ)

MCI(軽度認知障がい)への支援内容は。
いきいき生活部長 医師による物忘れ相談や認知症電話相談窓口事業を行っています。
子ども生活部長 今後のような計画を進めていくのか。
財務部長 25年度に16%を切り替えることを目標に掲げ、3年間で29台以上の導入を目指しています。さらに、30年度には75%を、50年度には100%を目標としています。

スクールの増員を
求める



藤田 学(自由民主党)

いきいき生活部長 25年にはPEN食器への切替えを完了したいと考えています。
循環型施設担当部長 音が聞こえている方の自宅を訪問し、音の程度について測定させていただいています。調査結果を反映し、建物外壁面の排気口に消音装置を設けるなどの対策を行っています。

中核市ベンチマ
ーキングなど



村まつ俊孝(公明党)

中核市ベンチマーキングについて、中核市を比較対象とした背景や今後の展開は。
市長 個性豊かな地域社会をつくる先導役の中核市と比較することが今後の市政運営において大変有意義なものになると考えております。政策立案やさらなる行政経営改革につなげ、町田の魅力や市役所の組織力を向上させたい。
行政が関わり高齢者が

日本語支援の現
状／児童の課題



笹倉みどり(まちだ市民クラブ)

外国につながる子どもたちへの日本語指導は。
学校教育部長 22年度は、文部科学省の事業を活用し、研修を実施しました。指導力向上に向けた研修は、23年度以降も実施していきます。
子ども生活部長 適切な期間等については、新たな学校要となるケースなども含めて検討していきます。

乳幼児コ
ロナは慎重に



渡辺徹太郎(選ばれる町田をつくる会)

乳幼児への接種勧奨は慎重に。
子ども生活部長 接種は任意のため、保護者が判断しやすいよう、情報を様々な広報媒体により周知しています。
学校教育部長 副反応に伴って出席停止とした児童生徒数の調査は行っていません。
町田の下水処理は革新



町田市の小学校給食では、軽くて丈夫なポリエチレンフタプレート食器、いわゆるPEN食器での給食提供を進めています。